



.....  
工事タイムス  
.....

——鐵 道——

■神戸市街高架線 工事は灘、生田川間第一工區の起工式は八月十二日竹川所長立會の下に舉行。

■蒲門トンネル工事 の鐵道省會議は九月八日井上鐵相外各局長關係者協議の結果豫報の如き工事案にて愈十七年度から着手するに決した、

■八月二十五日 上野淺草間の東京地下鐵掘鑿工事個所に土砂崩壊して瓦斯管に引火したが負傷はなかつた、原因はIビームの堅柱に横の土壓を受けたものらしい。新聞記事は大袈裟なものであつた。

■シヤムの王族 プレイマカーン殿下は米國のコーネル大學にて鐵道土木工學研究本年七月卒業今回シヤムに歸國の上、國內鐵道建設工事に従事せらるゝ由、シヤムの鐵道は現在延長3,000哩。

——建 築——

■皇族會館 宮内省では外國貴賓の御來朝に際し御館として壯麗なる會館を造營するの議がある、豫算は5,000,000圓位で新宿御苑か高輪御料地かに皇族唯一の御社交機關が出来る由。

■新華族會館 日比谷公園前の有名な舊鹿鳴館は拂下げとして麹町三年町に新館建築工事を急いでせる新館の様式は古代英國風四階建て、中條曾根兩氏の設計になる。

■震災記念塔 は九月一日から本所被服廠跡に起工される筈であつたが、設計圖が變更され且つ基礎地盤軟弱のため適法を考究中の由。

■ジエネバ の國際聯盟會館の懸賞募集に對し我が東京の建築學會の態度が餘りに冷淡だと云ふので關西方面の小壯建築家は一切應募せぬ由。

■海上ビル 東京驛前深濠の同増築工事は敷地1,000坪七階建て坪1,000坪同社營繕課の直轄工事とする坪當り工費約400圓。

■大津市廳舎 改築設計案が原田土木課長の手で出來八月三十日實現に關する市會委員會を開會。

■皇室博物館の再築 上野公園の同館は大震災の爲め表慶館のみを残してをつたが、愈々大正十六年度から世界的大規模のものに再築する案が宮内省當局に出た由。

■大東京市廳舎 の新築案は大手町の印刷局跡を買収して建坪1,500坪、工費9,750,000圓で鐵筋コンクリート七階建ての堂々たる建築具體案が出來た。

■水上署の新築 災後甚だ振はない横濱の建築界に一偉觀として工費25萬圓にて近世式鐵筋コンクリート建坪136坪の三階建水上警察署が港頭に出來八月二十八日落成式を舉行した。最新設備を有する東洋一のものである。

■市民葬儀場 が東京市の手で青山へ出來た、式場は120坪、500人の會葬者を入れる椅子を備へ使用料は最高80圓から40圓と20圓迄とし、1哩50錢の式用自働車を備へてある。十月一日から公開。

■工事費節約 八月二十一日大藏省營膳管膳局では田次官、太田總務部長、矢橋工務部長其他審議の結果同局關係の豫算に於て工事費約 $\frac{5}{100}$ 見當を一率に節減するの案をたてた。

■國產品の苦心 新議事堂の大理石は茨城、岐阜、岡山縣等の全部國產品を使用する爲め同一品種の大量を得るに苦しみつゝある。又便器も外國品に匹敵するものなき爲め優良國產品の發見に苦心しつゝある由。

■下級官吏 を優遇の一策として司法省では省裡の敷地に工費100,000圓で鐵筋コンクリート三階建てのアパートメントハウスを起工した。

■細民街 の改善のため東京三河島、日暮里、南千住に2,500,000圓の豫算で鐵筋コンクリート二階建てを建築して不良住宅居住者を收容する案が内務省で立てられた。

■京濱の假建築 は震災後市民復興の狀況を考慮して大正十七年八月迄の許可期間を建物の種類により尙ほ三ヶ年乃至七ヶ年を延期許可する案が内定された。

■中央官衙建築 の準備委員會が九月六日永田町藏相官邸に開會され次の原案を可決した。

第一、路線計畫の件（溜池より霞ヶ關を通じて參謀本部に至る新線の外八線）

第二、内務省廳舎建築の件（六階建鐵筋混凝土建坪數一萬二千坪工費總額八百五十萬圓）

第三、特許局建築の件（六階建鐵筋混凝土建坪六千七百

坪場所麴町三年町高松宮御用邸の附屬用地工費總額四百五十萬圓)。

■**仙臺建築學會** 建築研究を目的として仙臺市の技術家及び同業者により設立された同會は九月五日鹽釜築港工事狀況を視察した。

■**東京中央郵便局** は東洋一の建築設備を以て近く起工の運びとなり九月上旬から東京驛前の敷地の地質調査に着手した、鐵骨鐵筋コンクリート五階建の延坪約 6,000 坪である。

——道 路——

■**八月二十七日** の内務省に於ける特別都市計劃委員會で東京都市計劃道路受益者負擔に關する條項を特別委員會の審議に附した、之は所謂環狀線放射線たるもので近く内務省令として公布されるものである。

■**日本固有の** 荷馬車荷車用の特設道路を東京府にて新設する事になり、十六年度の新事業として新宿御苑寄り舊上水延長 500 間の上部をコンクリートを以て蓋をなし 6 間幅の道路新設を計劃中。

■**復興道路** 工事では幹線幅 22 米以上のもの五十三線の内、九割八分は測量を終り、四割八分は設計及び工事中である。

■**東京市道路局** 第二期補助街路鋪裝工事は山の手方面四間以上六間以内を約 700,000 坪に 9,000,000 圓の簡易鋪裝費を十六年度から四ヶ年繼續として豫算に要求する由、

■**日比谷公園** 脇から内幸町を海軍省横に至る 24 間道路に公園課の手で初めての遊歩道が出来た。

——橋 梁——

■**淀川大橋成る** 阪神國道中の延長 402 間、幅 11 間の淀川大橋は工費 2,300,000 圓で鐵骨鐵筋の工事成り八月二十五日渡初式を舉行した。

■**復興橋梁** 震災後三周年の今日九月初め迄に出来上つた東京市内復興局の橋梁十六橋、工事中のもの三十六橋、設計中のもの三十五橋である。

■**隅田川六六橋** 工事の復興局隅田川出張所所屬人員は技師技手書記以外に現在働の 530 名、事業手 180 名其他で 770 名の由。

■**宮城縣石の巻** 北上川の東内海橋は今回鐵筋コンクリート橋に改造される事になりし由、

■**京都伏見町** 西部の新高瀬川に鐵筋コンクリート鋼版式桁橋の工事に着手した、内務省直營工費、40,000 圓。

■**酒匂橋の龜裂** 本年六月竣工した神奈川縣の酒匂橋は、此程ソリデチツトの鋪裝が桁の繼目に於て三寸程の龜裂を生じた、之は繼目のアスファルト工が不良である爲らしいとの由。

——港 灣——

■**井上鐵相** は半ヶ月の北海道鐵道視察をして九月二日歸京、〔北海道拓殖計劃に關し、運輸系統の統一と港灣背後地域の産物を統一する事が先決要件である〕云々と港灣は小樽、函館、室蘭、釧路、根室、網走、稚内の七港を指す。

■**室蘭は** 12,000,000 圓、小樽は 8,000,000 圓 見當て愈々鐵道省にて十六年度から工事に着手する模様。

■**隅田川口工事** 東京市の同改良工事は既に第三臺場より洲崎埋立地迄の延長千三百間の内第三臺場先三百間は二三ヶ月中に工事終了の豫定であり又芝浦一號地先新設五百間の岸壁も最近内務省より其内三百間の認可があつたので近く工事に着手の豫定。

■**熊本縣營** の八代北新地潮止工事は七月五日の暴風にて大被害を受けたが、山田埋築所長及び請負者小林氏は天草方面より帆船百數十隻に原石を満載して八月十六日潮時を利し一齊に荒潮留工事をして遂に成功した。

■**マカラ築港** 豫て工事中であつた澳門新築港は八月二十六日盛大な落成式を舉げた。

——河 川——

■**治水問題** に關し政友本黨では九月上旬小委員會を本部に開いて調査事項を協議した。

■**復興運河** 工事は新設一、改修十一、埋立一の内最も急を要する西堀留川筋埋立工事は落成し、築地川、楓川の連絡工事東堀留川改修工事を除いた他の運河は設計工程三割五分、工事工程二割六分、落成工程二割一分となつてをる。

——水 道——

■**戸塚水道工事** 神奈川縣戸塚町の水道工事は近く工事着手の豫定で諸種準備中である。

■**水道複線工事** 東京市の水道鐵管複線計劃は十三年度以降豫て工事中なりしが本年度から工事費 2,115,000 圓にて復興事業に屬する總延長 45,424 間より分割明年度中に完成し、更に第二期計劃を進める事になつた。

——電 氣——

■**大無電局** 設計内容は 800 尺の大鐵塔 8 基を建設し

工事タイムス

500キロ120,000メートルアンペアのアンテナを架設する。

■**地表の所有權** 土地の支配權は地表上下の何尺に及ぶかは目下の法律問題として頗る注目されてをる之は群馬縣吾妻川水電工事にて地下七十尺の隧道工事を土地所有者より侵害の訴訟を提起した爲めである。

■**鬼怒川水電** 會社の隅田川火力發電所 8,000 キロ發電機は三菱造船所にて製作上責任を負ひ石炭消費量に就て補償又は賞金付の試験をなす由。

— 人 事 —

■**草間偉** 氏は無線電信柱の設計に就てなる論文にて今回工學博士の學位を授與された、氏は長野縣人明治39年の東大土木工學科出で現在同學科の教授である。

■**清野長太郎** 氏復興局長官の同氏は病氣入院中であつたが九月十五日逝去された、後任は有吉横濱市長の噂が高い。

■**大井田端足氏** 東鐵工務課長の氏は鐵道省監督局技術課長に轉任。

■**伊藤常夫氏** 鐵道省監督局技術課長の氏は富士山麓鐵道の技師長になる爲め辭任。

■**米山辰夫氏** 仙鐵工務課長から東鐵工務課長に轉任。

■**田井九一氏** 札鐵工務課長から仙鐵工務課長に轉任。

■**鈴木一氏** 札鐵工務課長に任ぜらる。

■**志賀儒介氏** 東鐵改良掛長から名鐵工務課長に轉任。

■**森川藤次氏** 神鐵改良掛長から東鐵改良掛長に轉任。

■**田代常穂氏** 札鐵改良掛長から神鐵改良掛長に轉任。

■**河原直文氏** 鐵道省熊本建設事務所長の氏は今回歐米鐵道視察を命ぜられ十一月五日出帆の豫定。

■**名和昆虫翁** は七十一歳で八月三十日岐阜の自宅に病氣のため逝去した、私立研究所を興し五十年間に採收せるもの1,500,000疋、講習生 6,500名を出し鐵道省囑託として枕木被害の調査もした世界的の昆虫學者である。

■**労働大尉** 神奈川縣戸塚町在の豫備騎兵大尉平野亨氏(三十七歳)は目下大船驛の鐵道工事に自由労働者となつて仲間から尊敬をうけてをる。

■**平野亨氏** は曰く他の労働者には階級意識があり心のつながりがあるが土工にはそれがなく労働と賭博が生活の全部である、それで私は生活の向上をはかり度いと心から自ら鶴嘴を握る土工となつた。

■**大正十四年** の日本の人口動態統計が九月一日發表された。内地丈の数を見ると出生2,086,091人、死亡 1,210,706人差引都合 875,385人の増加。此の自然増加率は世界に於てオランダに次ぎイタリーより稍高いと。

■**名を秘めて** 寄附金 200,000 圓を東京本所區柳島梅森町の養育會建築資金に申出た人がある。

■**片岡弓八** 氏は地中海の海底から八阪丸の金塊を探り揚げて以來深海工業家として世界的の人となり今回露國政府と黒海に沈んだ船中の金貨引揚を委託された。氏は月島商船學校出の人。

— 雜 報 —

■**北海道天壁郡** 幌延村の豊富土地改良工事は八月十八日加勢土木部長、竹内所長、長池技師列席起工式を擧げた。

■**京都府下** の面積 750町歩の巨椋池の干拓工事は明年から府の事業として着手する 由、總工費豫算 1,500,000圓。

■**優良セメント** の製出計劃がボツ々々傳へられるが、之が爲め淺野系では資本金 50,000,000圓の新會社を設立すべく準備視察研究を兼ね近々技師十名を外國に派遣する 由。

■**七尾セメント** 盤城セメント株式會社では十月頃石川縣七尾町に5,000,000圓の新會社を設立する 由。

■**地震の回数** は中央氣象臺の發表で大震災後滿 3 年間に 18,500回、一日平均 17回と云ふレコードさすがに地震國なりけり。

■**創刊雜誌** も出るが廢刊も毎月多數にある。最近休刊又は廢刊したる雜誌の中に次の如きがある。文化諸報。蒲田映畫。芝居畫報。演劇畫報。東京灣。むらさき。もいろ。其他文藝物多數。

便利購讀方

一部宛着本次第毎月七拾錢拂込む方法を希望せらるゝ讀者の爲めに便宜を圖ります此の希望御申込みの方へは毎月振替用紙を挿込みとして發送しますから着本次第近くの郵便局へ一冊七拾錢の割で振替用紙と俱に御拂込下さい之が絶対に紛失しない安全な送金方法です。